

当事者等からの意見の計画への反映状況について

	意見内容	計画への反映箇所(主な取組)
施策1 すべての子どもの最善の利益を守る環境の整備		
1 支援が必要な妊産婦と子育て家庭等への支援		
施策2 社会的養育が必要な子どもへの適切な支援体制の構築		
1 区独自の児童相談体制の強化		
	「児童相談所に相談してよかった。親とのケンカが減りそう」 「児童福祉司さんはきちんと話を聞いてくれる。やさしい」 「児童心理司さんはやさしい。困りごとを解決してくれる。」	一時保護中の子どもからの聞き取り内容 (令和6年8月)
2 代替養育を必要とする家庭への支援		
	「子どもがなぜ泣いているのか少し余裕をもって考えられるようになった。」 「うまくできなくても次気を付けようと思えるようになった。」	保護者支援プログラム等を受講した保護者からの意見・感想
施策3 社会的養育が必要な子どもへの適切な支援体制の構築		
1 家庭と同様の環境における養育の推進		
(1) 里親親登録数の拡大と支援の充実による家庭養育の推進		
	「里親の意見を尊重しながら支援してもらっている。」 「子どもの人生の途中から関わる養育の難しさについて学びを深めたい。」 「里親同士の交流や養育の経験談を聴く機会を増やしてほしい。」 「近隣の方が里親子の関係を理解し見守ってくれるのは心強い。」 「里親制度をたくさんの人に知ってほしい。」	養育里親からの聞き取り内容 (令和6年9月実施)
(2) 特別養子縁組の推進		
	「児童相談所やフォスティング機関が親身になってくれる。」 「縁組成立後も、相談できる機関や場所があり、安心感がある。」 「フォスティング機関の研修で養親同士話せる場がある。」 「支援に関わる機関の役割分担がよくわからなくてどうしたらよいか迷うことがあった。」 「地域の機関や近所の人々が、特別養子縁組のことを知ってほしい。そして、こういった家族が特別ではない、と思える社会になってほしい。」	養育里親からの聞き取り内容 (令和6年9月実施)

2 施設におけるできる限り良好な家庭環境の整備			
	「在宅支援に関する取組及び地域のニーズに合わせた取組としてショートステイを行っている」 「里親支援専門相談員等を配置し、退所後のアフターケアについても体制を整えている」 「地域の方々への支援として子育てひろば事業等の新たな地域支援事業等も検討していきたい。」	区内乳児院からの聞き取り内容 (令和6年9月実施)	①子どものニーズを的確にとらえた区内乳児院の運営に向けた支援 ②施設における地域の実情に合わせた支援等の実施
3 社会的養護のもとで育つ子どもの自立に向けた取組			
	「自立に向けてアルバイトをがんばった。」 「自立するにあたって、責任を感じた。」 「自分の今後に慎重に動かないといけないと思った。」 「目標を達成するために、必要なことを逆算して考えた。」 「家族や学校、周りにいる頼れる人に頼った。」	社会的養護経験者からの聞き取り内容 (令和6年9月実施)	②一人ひとりの状況に合わせた自立に向けた支援の実施 ④「(仮)みなと社会的養護自立支援ミーティング」による支援の実施
4 一時保護された子どもへの支援体制の強化			
	「一時保護所は危なくないから安心できる」 「起床時間が早すぎる。学校が遠いから早く起きないといけない」 「一時保護所に来たら嫌な夢を見なくなった。不安だなんていう気持ちがなくなった」	一時保護中の子どもからの聞き取り内容 (令和6年8月実施)	①一時保護所の適正な運営の推進
	一時保護中に不安(心配な事)を感じた時、職員は話を聞いてくれますか。 はい27%、どちらともいえない37%、いいえ18%、わからない18%	令和5年度 一時保護所第三者評価アンケート	②保護児童の権利擁護を尊重した環境づくり